



アドナイ刊

主の山に備えあり (創世記22章)

発行 社会福祉法人 十字の園
 ケアハウス アドナイ館
 細江デイサービスセンター
 発行責任者 河出 雅代
 〒431-1304 静岡県浜松市北区細江町中川7437-8
 電話 (053) 439-1200 (代表)
 439-1212 (デイ直通)
 FAX (053) 439-1211
 郵便振替 00890-9-125741
 E-mail: hm-adonai@orion.ocn.ne.jp
 URL: http://www.jyuji.or.jp/hamamatsu_city/adonai/



アドナイ館 クリスマス祝会

(2020年12月19日)



ドイツの首都ボンから車で一時間、ライン河沿いにフリードナー牧師(一八〇〇―一八六四)が創設したカイゼルスウェルト学園がある。ナイチンゲール(一八二〇―一九一〇)が、三歳の時に執筆した「カイゼルスウェルト学園によせて一八五二」「ナイチンゲール著作集第一巻」(一九九七)を読んだ。カイゼルスウェルト学園の始まりは、一八二六年刑務所規律を改善するためのドイツの協会を作ったことに遡る。病院、更生所、看護院、幼児学校があり、ここでの見聞がナイチンゲールの働きの基礎になっている。「一、病院とデイ・コネスの母の家」には、ひと知れず人々に影響する振舞いが身につくような、また時宜を得た言葉がふと、口をついて出るような看護婦になるように教育し実力をつけることである」とあり、一〇〇年後ここでの訓練を受けたシュヴェスター・ハニは、一九六一年日本で最初の高齢者介護に特化した施設(十字の園)の開設に尽力し、一九六六年日本を去るまで介護を体現した。一九六三年老人福祉法ができて特別養護老人ホームが誕生する。介護とは何か一人のデアアコニッセが教えてくれたのである。

上野貢一



「やさしい日本語」

施設長 河出 雅代

静岡県のホームページを見ておりましたら「やさしい日本語」という見出しが目に留まり興味をもって開いてみました。「やさしい日本語」というのは、普段使われている言葉を外国人にもわかるように配慮した簡単な日本語のことだそうです。

一九九五年の阪神・淡路大震災では言葉が十分に理解できず必要な情報が受け取れず被害にあった外国人が大勢いました。そこで災害発生時に適切な行動がとれるようにと考え出されたのが「やさしい日本語」です。そして、今では災害時のみならず生活情報や観光情報など平時の情報伝達手段として役割が広がっています。日本で生活する外国人が年々増えその出身地も多様化しています。すべての外国人に母国語で伝えることができればいいのですが現実的にはありません。静岡県が実施した調査では、多くの外国人県民にとって「やさしい日本語」

は「英語」よりも通じるという結果が出ています。最近ではコロナ禍で「マスク着用」「面会禁止」などの貼り紙があります。がそれらを「マスクをしてください」「会うことはできません」などと表記すると意味が分かりやすいというようです。

「やさしい日本語」は外国人向けに考え出されたものですが、子どもや高齢者、障がい者などを対象にした伝達手段としても有効であると考えられます。

しかし、ただ簡単な言葉に置き換えればいいというものではありません。誰に何を伝えたいのかを考えながら、多少不自然な文章になったとしても相手に伝わるということが何より大切が必要です。そのためには、伝えたい相手の立場を思いやる想像力が必要です。

「やさしい日本語」は、「簡単な」日本語ではなく「優しい心」のこもった「日本語」なのです。

地域のひろば

あけましておめでとございます。本年もよろしくお願いいたします。

長谷川薬局は昭和51年（1976年）に開局いたしました。この地域に薬局がほしいという近隣の方の声を聞いて、現在の湖東交差点近くで始めました。開局当時は

薬局と育児と無我夢中の毎日でした。その頃は乳児用紙オムツや粉ミルクがよく売れたのを覚えています。

平成に入る頃には、大型量販店が次々と出店し、薬局は以前のような忙しさはなくなりましたが、地域のコミュニティの場として親しまれていました。

平成8年（1996年）、私は民生委員を頼まれ6年間務めました。その間に地域高齢者ボランティアの会「湖東にじの会」を設立しました。介護保険が始まる前で、地域ぐるみで高齢者や介護する家族を支えました。

『地域と共に45年』

長谷川薬局 長谷川 米子

昨年湖東にじの会はその役目を終え解散しましたが、仲間と共にアイデアを出しあい過ごした日々は良い思い出であり、この経験や人とのつながりは様々な形で現在にも生かされています。

2000年頃から医薬分業制度が本格化し、保険薬局としての役割が増していきました。三女（鈴木愛）が聖隷浜松病院に勤めたのち長谷川薬局を引き継いでくれて、現在は主力となって薬局を盛り上げてくれています。

アドナイ館は開館当初から関わらせていただきました。たくさんのお会いがあり、学び、時に励まされ、人として大いに成長させていただきました。心から感謝いたします。2013年浜名湖エデンの園の西側に移転しました。これからも親子2代と

スタッフ一同、地域の方々とながらお役に立つことができれば幸いです。





「友なるイエスさま」

聖隷福祉事業団 聖隷三方原病院
ホスピスチャプレン 佐藤志伸

アドナイ館の近くに聖隷三方原病院があります。ここには、慈しみ深い主の導きのもとに建てられました「聖隷ホスピス」がありまして、今年設立四十周年を迎えます。ホスピスには礼拝堂があり、平日の朝八時四十分から九時まで礼拝をおささげしています。現在、感染症対策のため礼拝堂に集まることは難しい状況ですが、幸いにも放送設備が整っているため、各部屋にて共に礼拝の恵みに与えることができます。ホスピスに入所しておられる方々やそのご家族の多くはこれまで教会に行ったことはありませんとおっしゃいます。しかしながら、「今日の讚美歌、聞いたことがあります。」「好きな讚美歌です。」とおっしゃる方が多いのは「いつくしみ深き 友なるイエスは」です。この讚美歌では「どのような状況に置かれようとも、友なるイエスさまに祈るならば、必ずイエスさまが憂いを取り去ってく

ださる。重荷を下ろさせてくださる。憐れみ、慰めてくださる。愛を持って導き、いたわってくださる。」と歌われています。「わたしがあなたがたを愛したように、互いに愛し合いなさい。これがわたしの掟である。友のために自分の命を捨てること、これ以上に大きな愛はない。(ヨハネ15章12、13節)」イエスさまは十字架の出来事において私たちの罪を贖ってくださいました。御自分の命を捨てて私たちを罪と死の力から救ってくださいました。このように私たちを真に愛しぬいてくださるイエスさまが、私たちの友となってくださいるお方です。誰にも勝る友イエスさまがいつも私たちと共にいてくださいます。このお方に信頼し、助けを求めて祈ることが出来ます幸いです。主の年2021年、皆さまの歩みの上に、祝福をお祈りしております。

福祉情報 - その147 -

「全世代型社会保障検討会議 最終報告」

政府の全世代型社会保障検討会議は令和2年12月14日、最終報告にあたる「全世代型社会保障改革の方針案」をまとめた。与党内でも意見が対立していた75歳以上の医療費窓口負担割合については、2割負担に引き上げる高齢者の所得基準を「年収200万円以上」とすることで合意した。報告には「給付は高齢者中心、負担は現役世代中心というこれまでの社会保障の構造を見直す」と明記し、現

役世代への給付の重点化を鮮明に打ち出している。先の中間報告で、後期高齢者のうち一定所得者の医療費窓口負担割合を2割に引き上げることとを提言、最終報告で結論を出すとしていた。協議の結果、本人課税所得が28万円以上、単身世帯で年収200万円以上(夫婦など複数世帯の場合は年収合計が320万円以上)の後期高齢者の窓口負担割合を2割とし、それ以外は1割とすることで決着した。2022年度後半に施行する。(以下略)(シルバー新報より)

たべもの - 厨房より -
121 あれこれ

「お雑煮について」

アドナイ館のお雑煮は餅を柔らかくして醤油の味付けのお雑煮です。お雑煮は地域の特徴が出る料理です。



例えば北海道は味噌の味付けに海鮮を入れた北海道らしいお雑煮です。島根県ではぜんざいをお雑煮として食べます。また、東京の一部の地域では揚げ餅のお雑煮もあるそうです。



お雑煮は地域ごと、ご家庭ごとの味があります。皆様のご家庭ではどんなお雑煮を食べていましたか? (O)

ケアハウス

わたしの夢
わたしの楽しみ
わたしの〇〇

「道は備えられていた」 入居者 高木直雄

私は昭和四年に北海道の小樽に生まれ、今九二才を目指しています。小樽は私の魂の新生妻との出会い、受洗、結婚、二人の子供の誕生、幼児洗礼と家族全員が出発したところでもあります。北海道では小樽、札幌を経て四四年間生活し、学齢期は常に戦時体制下。



「みをつくし文化センター」大河ドラマ館にて

その後は敗戦から復興する社会の急変の中で幾つも職業を変えねばならない状況でした。昭和四八年九月、思いがけなくここ浜松に転居し、その後は一貫して社会福祉法人十字の園の仕事に携わってきました。様々な体験をした後、そろそろ定年後の過ごし方を考え始めた頃予想外の新しい道が備えられ、伊豆高原十字の園、続いて別法人の牧ノ原やまばと学園が経営する(特養)聖ルカホームへと導かれる長い単身赴任生活が始まりました。最後に全ての仕事から離れた時は八〇才を過ぎ、以前定年後の過ごし方を考えたことは杞憂に終わりました。浜松に落ち着いた後も引き続き幾つかの施設の朝礼拝で聖書の御言葉の奉仕に用いられていることは、キリスト者としてたいへんありがたいことです。青年の頃までは頑固な無神論を貫いてきた私ですが、ある日(二〇才頃)一



自宅にて

瞬にして神様の存在を確信する者に変えられたことは、人生の中の貴重なターニングポイントです。紆余曲折の人生の中心を貫いてきた一本の心棒がキリストへの信仰であったことは、この上ない幸いなことでした。

令和元年に六五年間信仰生活を共にした妻を天に送り、遺影と語り合いながら平穏な毎日を過していますが、神様の大きな恵を思い感謝しています。

最後に私の人生と重なる聖句を記します。

「わたしはあなたたちの老いる日まで白髪になるまで、背負って行こう。わたしはあなたたちを造った。わたしが担い、背負い、救い出す。」(イザヤ書四六章四節)

アドナイ館での生活は今後も色々お世話になります。宜しくお願いいたします。

ケアハウス日誌

- 14 10月 自動車文庫
- 14 28 買い物ツアー
- 11 12・13・16・18 夜間防災訓練
- 15 ビューティーヘルパー
- 16 フラワー教室
- 23 後見制度説明会
- 24 聖隷クリストファー中・高等学校吹奏楽部清掃ボランティア
- 27 よろず相談(施設長)
- 11月
- 4 防災訓練
- 11 自動車文庫
- 11 25 買い物ツアー
- 19 ビューティーヘルパー
- 25 よろず相談(施設長)
- 20 入居者勉強会
- 27 フラワー教室
- 12月
- 9 自動車文庫
- 9 23 買い物ツアー
- 15 防災訓練
- 17 ビューティーヘルパー
- 18 フラワー教室
- 19 クリスマス祝会
- 23 よろず相談(施設長)

9月 敬老祝会

細江デイサービスセンター最高齢101歳の方、節目の方、ご長寿（91歳以上）の方のお祝いを行いました。

デイサービス

細江デイサービスセンター
レクリエーション
日常の一品



お祝いのお花は
皆さんと作りました。

10月 細江デイサービスセンター大運動会



先に倒すぞ！



がんばってー

《《♪ デイサービス日誌 ♪》》

	レクリエーション				
	第1週	第2週	第3週	第4週	第5週
10月	運動会	個別グループ活動	個別グループ活動	個別グループ活動	個別グループ活動
11月	個別グループ活動	個別グループ活動	個別グループ活動	個別グループ活動	個別グループ活動
12月	個別グループ活動	個別グループ活動	個別グループ活動	クリスマス会	個別グループ活動

《《☆ デイサービスの動き ☆》》

【デイ会議】 10/22 11/19 12/17	【出張】 11/21 11/22	【サービス担当者会議】 9/25 10/22 11/18	【実習】 10/15～12/3 毎週木曜日	【ボランティアの皆様へ】 現在は新型コロナウイルスの影響によりご遠慮して頂いています。状況が落ち着いたのちに、またお願い致します。
-----------------------------------	------------------------	---------------------------------------	-----------------------------	--

「総合防災訓練を行いました」

11月1日は「社会福祉施設防災の日」。アドナイ館ではこの「防災の日」に合わせ、毎年11月に総合防災訓練を実施しております。

今年は、避難訓練と共に消防署からお借りした水消火器を使って消火訓練を実施。

防災の基本は「自分の身は自分で守ること」。入居者の皆様にも実際に消火器を扱って訓練していただきました。職員より皆様の方が上手に扱っていました。只々脱帽。

今年も有意義な訓練が行えました。



11月4日開催

曳馬野

三密に飽きたるごとく置かれたる
傘の一本さりげなく立つ

先き逝きし 友の笑顔に励まされ
アドナイの群れに 今日も楽しく

天を指す 裸木蒼天に突っ立ちぬ
役目を終えし人の如くに

グランドの声 高々と 秋の空

せめて声を聴きたしと古き我が短歌
待つのみ素直な青春なりし

春海
香代子
陽出子
アジサイ
佐和子

- *10月* 匿名一名
- *11月* 中里武子、匿名二名
- *12月* 四元めぐみ、遠州教会、駿府教会、吉崎敬次、塚本ゆり子、佐藤房江、加藤はる、匿名四名

「献金者ご芳名」

(敬称略)

献金感謝

10月分	1件	20,000円
11月分	3件	1,264,210円
12月分	11件	195,000円
合計	15件	1,479,210円
4~12月		累計1,929,210円

コロナ太り撲滅に取り組んでいます

コロナ・コロナでインドア生活を余儀なくされ早数か月。出るのは「ため息」溜まるのは「お腹のお肉」ばかり…



これではいけないと「スポーツの秋」と銘打ち、入居者を巻き込みロコモ体操の勉強会と共にラジオ体操を毎朝実施することに…

入居者の皆さんはお元気。半面、職員は息切れ気味。皆さんにいつになったらついていけるだろうと思う今日この頃。

収穫感謝祭 ありがとうございます。

聖隷こども園わかば



クリストファーこども園

あ と が き

新型コロナウイルス感染が日本で流行し始めてから約一年がたとうとしています。この一年で社会は大きく変わってしまいました。身内や友人に気軽に会うこと、外出することも難しくなっていました。

暗いニュースや制限が負担に感じると思います。以前のような社会に戻るにはまだまだ時間が必要です。終息までには苦勞もあると思いますが、一人一人がしっかりと策をして乗り越えていきましょう。

(〇)